

白門ライオンズ会報

Quarterly of Lions 2022.5-6-7-8 No.26

東京白門ライオンズクラブ <http://hakumon-lions.org/>



7月6日 於 銀座東武ホテル 福原紀彦前学長、日本私立学校振興・共済事業団理事長就任による例会訪問



8月6日 於 中央大学多摩キャンパス (Forest Gateway Chuo) 東京白門ライオンズクラブ白獅子会支部結成式

中央大学
東京白門ライオンズクラブ
TOKYO HAKUMON LIONS CLUB

ご挨拶

第19期 会長就任のご挨拶

新会長 松田 啓



第19期、東京白門ライオンズクラブの会長を仰せつかった松田啓です。

会長就任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

これまでの2年は、世の中コロナで会合等が思うように開くことができませんでした。当会においても、一時期は例会を開催できなかった時期もありましたが、歳忘れ・お花見の例会は、コロナ対策を行った上で開催し、通常の例会も積極的に可能な限り行ってきました。

それも、横井弘明前々会長、河野信之前会長をはじめとする執行部のご尽力のおかげだったと思います。

そのような大変な時期を乗り越え、ようやく通常の活動を再開できそうですが、今期は第19期ということで、20周年チャーターナイトに向けて、“ホップ・ステップ・ジャンプ”の“ホップ”にあたる年となり、再開するだけでなく勢いをつけなければならない年です。

そのためには何よりも、例会を盛り上げ、楽しいクラブ活動を行っていききたいと思います。

積極的に例会にゲストをお招きし、楽しい例会を行えば入会者も増え、会員増強となり、来たるべきチャーターナイトを盛り上げる準備となると思います。

次に新アクティビティです。これは、河野前会長、竹内敬雄前幹事長のコンビからの発案であり、これまでにない画期的な試みです。

学生支部の結成については、中央大学副学長の佐藤信行Lのご協力もあり実現できました。懸案として残っているのは、養護施設から中央大学に入学する学生さんたちに奨学金を送る試みです。これについては、持続可能なシステム設計、資金面の問題等、簡単にできる話ではありませんが、引き続き河野前会長に新アクティビティ委員会の委員長になっていただき、創意工夫し、可能な範囲で実現を目指していきたいと考えております。

私では力不足の点が多々あると思いますので、皆様のご協力を得て、東京白門ライオンズクラブの発展、ひいては中央大学の発展に寄与したいと思います。

2022年度(第19期)委員会編成表

終身名誉会長・元会長	L 中山正暉	テーマー	L 増淵秀一	一年理事	L 木村具成
終身理事長	L 鈴木 誠	副テーマー	L 宮崎亜巳	一年理事	L 西 肇
会長	L 松田 啓	副テーマー	L 岩佐義純		
前会長	L 河野信之	副テーマー	L 倉本美香	大学支援特別理事	
第一副会長	L 根岸清一	テールツイスター	L 大久保英彦	L 鈴木誠、L 星野紘紀、L 岩瀬順郎	
第二副会長	L 石村博義	副テールツイスター	L 安藤秀樹	L 榎秀郎、L 水津正臣、L 境捷彦	
第三副会長	L 程塚良男	副テールツイスター	L 増尾知恵	L 廣澤洋二、L 田口彰紀、L 中西美子	
幹事長	L 根岸清一	副テールツイスター	L 赤池三男	L 横井弘明、L 河野信之	
副幹事長	L 櫻井俊宏	二年理事	L 岡田孝子		
会計	L 竹内敬雄	二年理事	L 小平康代	会計監査	
副会計	L 深澤英雄	二年理事	L 茂岡幹弥	L 星野紘紀、L 田口彰紀	
副会計	L 宍倉徳子	一年理事	L 大越武雄		

委員会	委員長	副委員長	委員
総務・広報	L 大越武雄	L 木村具成、L 赤池三男	L 中川順一、L 土屋 準
会員親睦・大会・企画	L 茂岡幹弥	L 安藤秀樹、L 岩佐義純、L 佐藤 信、 L 宮崎亜巳、L 西 肇	L 及川陽子、L 陳 軼凡、L 徳永理恵、 L 倉本美香
会員増強	L 榎 秀郎	L 佐藤信行、L 小平康代、L 白土 純	全会員
大学支援(社会奉仕)	L 岡田孝子	L 水津正臣、L 増尾知恵	全会員
20周年準備実行委員会	L 鈴木 誠	L 榎 秀郎	全会員
新アクティビティ	L 河野信之	L 岡田孝子、L 竹内敬雄	全会員

第18期 会長退任挨拶

前会長 河野 信之



昨年7月に東京白門ライオンズクラブ第18期会長に就任させていただき、はや1年が過ぎました。過ぎ去った月日は早く感じ、私も今年6月末を持ちまして、会長の任期を終え、次期松田新会長にバトンを渡します。

就任時に掲げた「大学の発展に寄与する」こと、及び「会員相互の親睦をはかる」ことを目標に、会員の皆様の力を借りながら、コロナ禍ではありましたが、1年間充実したクラブ活動を過ごさせていただきました。我がクラブは「大学の発展に寄与する」ため、諸々のアクティビティを行っていますが、私たちができる最大のアクティビティは、中井正力ガバナーが仰います“会員増強”です。

中井ガバナーは「会員増強はアクティビティの『一丁目一番地』」と常々仰っていますが、全くその通りだと思います。前期、第4リジョンのゾーンチェアパーソンに就任したご多忙の榎秀郎元会長に会員増強委員長をお願いし、母校の優秀なOB・OGに東京白門ライオンズクラブのPR作戦を展開。コロナ禍にもかかわらず、根岸清一第二副会長の事務所に実行委員として何度も集まり、緻密な打ち合わせをして作戦実行。その後、行きつけの「たくみ」で一杯。楽しい思い出です。

お陰様でPR作戦は見事に成功。2桁以上の優秀なOB・OGに入会していただくことが出来ました。ありがとうございます。

また、中井ガバナーから、会員増強の意味で今期中に学生支部を作ってもらいたいとの依頼があり、こちらにも取り組みました。学生支部結成は、正直容易ではないと思いましたが、特別会員の佐藤信行副学長がトントんと道を付けてくれ、応援団監督の佐藤信Lのお骨折りで、応援部の学生さんが30名、学生支部に入会してくれました。

名前は「東京白門ライオンズクラブ白獅子会支部」。副学長の奥様が名付け親です。中井ガバナーには大変お喜びいただきました。お二方には心より感謝いたします。

新アクティビティとして、児童養護施設の出身者から中央大学の卒業生を輩出するスキームの検討を始めました。このスキーム

が完成すれば大学の評価が上がることは間違いないのですが、予算との兼ね合いもあり、引き続き新アクティビティ実行委員会にて検討をして参ります。

「会員相互の親睦をはかる」ため、1年間の行事予定はコロナ禍にも拘わらず、通常例会、納涼例会、ガバナー公式訪問の振り替え例会、年忘れホームパーティー、お花見例会、ゴルフ会、全て行うつもりで取り組みました。対面の集まりでなければ親睦ははかれないと感じていたからです。しかし、残念ながら納涼例会だけは、東武ホテル、シーボニアとも緊急事態宣言下で営業自粛、開催を中止せざるを得ませんでした。

銀座東武ホテル、シーボニアメンズクラブの例会場がOKであれば、たとえ人数が少なくても例会は開催。定期的に例会場を開けてくれている両会場が「最大限の対策を取っていますので大丈夫です」と言っているにもかかわらず、こちらが開催するかしないかをその都度決められることに違和感がありました。会場側も腹を据えてやってくれているのです。“人生意気に感ず”が大切だと思います。コロナ禍で例会を中止しているクラブが多い中、「え！ほんとにやるの？」という声もありましたが、頑張っって開催しました。

水津正臣元会長が、「マンボウ下、今日の例会は当然中止かと思っていたら、開催しているというので急いでシーボニア来ました。この状況で例会をやるのであれば、これからはずっと出席します。」と仰ってくれたときは嬉しかったです。

銀座東武ホテル、シーボニアメンズクラブ、及び、そのスタッフの皆様、会員の皆様には感謝しかございません。

任期中の前半はエンゼルス・大谷翔平選手の活躍に励まされ、後半はロシアのウクライナ侵攻に心を痛めました。来期は松田啓新会長のもと、メンバーの一人として微力ではありますが会の運営にお役に立たせていただきたいと思います。

松田新会長へ心よりエールを送り退任の挨拶とさせていただきます。1年間本当にありがとうございました。

2022年度(第19期) 前期スケジュール

	第一例会	第二例会	備考
9月	7日(水) 於 銀座東武ホテル(芙蓉の間) 理事会17:15~/例会18:00~19:30	21日(水) 於 シーボニア 理事会11:30~/例会12:00~13:30	22日(木) 於 東武ホテルレバント東京 ガバナー公式訪問
10月	5日(水) 於 銀座東武ホテル(芙蓉の間) 理事会17:15~/例会18:00~19:30	19日(水) 於 シーボニア 理事会11:30~/例会12:00~13:30	
11月	2日(水) 於 銀座東武ホテル(芙蓉の間) 理事会17:15~/例会18:00~19:30	16日(水) 於 シーボニア 理事会11:30~/例会12:00~13:30	11月27日(日)~30日(水) 第59回OSEALフォーラム 於 韓国・濟州島
12月	10日(土) 於 銀座東武ホテル(桜の間) 歳忘れホームパーティー	21日(水) 於 シーボニア 理事会11:30~/例会12:00~13:30	

2022年5月11日(水)

東京新宿ライオンズクラブ結成62周年記念式典 於 京王プラザ

L 榎が2004年春、山浦晟暉元ガバナーから白門ライオンズクラブ結成を要請されて早や18年!!

L 榎が新宿ライオンズクラブから「旅立ちと引き換えに誰かか有望な人を新宿ライオンズクラブに」と口説いたのが、今、新宿の雄というより鳴く子も黙るくらいの中井正力ガバナーである。

「当初ライオンズですか? あまり興味ないなあ。私なんかより、他にもっと好い人いるでしょう?」永い遣り取りの末、納得して入会してくれた思い出があります。

彼は新宿ライオンズクラブと謂うより東京330の星であり、ガ

バナーの中でもこの一年の実績は全国にも誇れるガバナーの一人であると確信しています。

それをガバナーとして育てたのが山浦元ガバナーであります。

この日の新宿ライオンズクラブ62周年の式典は330-A地区の中でも508人参加という驚異的な人数でした。私たち子クラブの白門ライオンズクラブは24名の参加で多少の花を添えました。

そこで白門ライオンズクラブ生みの親・山浦Lを讃える語りを依頼されたL 榎の原稿を掲載させていただきました。

(L 榎秀郎・記)

山浦元ガバナー(元国際理事) お疲れさま

L 榎 秀郎

北風が止み、そこに櫻が咲き、小鳥たちの囀りで目覚める朝。それが春を教えてください。

夏には爽やかな風を受けながら散策を楽しむ人たち。

秋には澄み渡る月を肴にあ一酒が旨い!!

また梅が咲き、正月を知らせてくれます。

まさに四季折々の移ろいを経て……新宿ライオンズクラブは志を同じくする人たちが相集い、渋谷ライオンズクラブを親クラブに、昭和35年5月19日銀座ライオンズクラブと兄弟クラブとして産声をあげました。

ただ、その半世紀以上の歴史は平坦な道ばかりではありませんでした。雨の日も風の日もありました。

日本オリンピック委員会会長であった新宿のシンボル、八木祐四郎Lの突然の逝去は最も悲しい出来事でした。新宿ライオンズクラブに暗い雲がメンバーの心を塞いでいました。

しかし春の陽ざしと共に雲間から明るさを見出しました。誰彼とは無しに「そうだ、うちには山浦がいる」。山浦晟暉Lを中心にクラブの心が一つになりました。

そして2005年、悲しみを乗り越え新宿の悲願だった山浦ガバナーが誕生!!

今、渋谷ハチ公と並ぶ新宿の名物「ライオン像」。当時の新宿駅長と何回も交渉の末、山浦Lの提唱で実現しました。

ワンコインを口に入れると「ウォー!!」。このライオン、聖徳太子が大好きで「ウォーウォーウォー!!」と3回鳴くとか。かの東日本大震災時には多くの人から浄財を集め大活躍したライオンです。

山浦Lは“行動するガバナー”として障害を持った方とご家族・関係者合わせて500名をディズニーランドへご招待!! そして2009年には国際理事に当選!! オリンピック・パラリンピック支援本部長、薬物乱用防止の提唱者として国際協力国連大使、その他、数えきれない大役のなか、国際アカデミー最優秀賞を授賞!! 日本ライオンズの名声を欲しいままにしました。

山浦Lは生まれ変わってもやっぱりライオン!! いつまでも世界の人々の幸せを求めて漕ぎつけない旅を続けます。

ただ今、新宿ライオンズクラブでは中井正力ガバナーという新しいスターが生まれました。

そろそろ「世の中の重荷おろして昼寝かな(正岡子規)」と思いますが、休むことを知らない山浦L。いつまでもお元気で活躍ください。50年間、本当にお疲れ様でした。



橋本聖子参議院議員のご挨拶



新宿62周年でご挨拶の小池百合子都知事



2022年5月18日(水)

5月第二例会 於 シーボニアメイズクラブ

2022年6月1日(水)

6月第一例会 於 銀座東武ホテル(芙蓉の間)



お誕生日祝いご挨拶の岡田L



お誕生日祝いをもらい「ウォー!!」岡田L、石村L



ご結婚祝いを授与された倉本L。末長くお幸せに!!



このたび入会された宮崎亜巳L、赤池三男L。左からスポンサーの榎L、大越L、河野会長



2022年6月15日(水)

6月第二例会 於 シーボニアメンズクラブ

お知らせ

中央大学駅伝部 出雲駅伝大会&全日本大学駅伝大会出場!!

本学駅伝部が出雲駅伝大会と全日本大学駅伝大会に出場いたします。

まず、第34回出雲全日本大学選抜駅伝競走は10月10日(月祝)スポーツの日で開催。コースは出雲大社正面鳥居前～出雲ドーム前(45.1km/6区間)、20校が出場します。

日本三大駅伝大会のなかで出雲駅伝が一番新しく、各区間の距離が短いことから“スピード駅伝”と呼ばれています。

箱根駅伝の成績(シード権獲得校10校)が出場できるということもあり、2013年以来の出場となります。

今回、ベストメンバーが組んで出場するというよりも、本学では“経験を積む”という視点で出場しますが、それでも7位以内を目指します。

また、11月6日(日)には第24回秩父宮賜杯全日本大学駅伝対校選手権大会が開催されます。コースは名古屋市熱田神宮～三重県伊勢市伊勢神宮(106km/8区間)、25校及び日本学連選抜チームと東海学連選抜チームの計27チームが出場します。

本大会は選考会(予選会)なしで出場できるシード権(8位以内)争いがありますが、本学の昨年の本大会結果が8位であることから、シード校として出場します(シード校以外の関東枠は、

全日本大学駅伝大会HPのトップページ



6月の選考会<予選会>から上位7校が出場)。

箱根駅伝の前哨戦という位置付けにおいて本大会は5位以内を目標、最低でもシード権確保を目指します。

出雲駅伝大会はフジテレビ、全日本大学駅伝大会はテレビ朝日にて放送予定です。テレビの前で応援しましょう!

(L佐藤信、L木村実牙男・記)



出雲駅伝大会ホームページ
<https://www.izumo-ekiden.jp>

全日本大学駅伝大会ホームページ▶
<https://daigaku-ekiden.com>



2022年7月6日(水)

7月第一例会 於 銀座東武ホテル(芙蓉の間)



新旧会長交替認証状伝達式



新三役! 左から会計・竹内L、会長・松田L、幹事長・根岸L



お誕生日祝い 左から宮崎L、櫻井L、井上L、茂岡L、竹内L



新入会員・佐野友映L入会式



久々にお見えの井上彰Lのご挨拶

2022年7月20日(水)

7月第二例会 於 シーボニアメンズクラブ



和気藹々の例会風景

2022年8月6日(土)

学生支部『白獅子会』結成会 於 中央大学 (Forest Gateway Chuo ホール)

2022年8月6日、中央大学多摩キャンパスにて、当クラブの学生支部『白獅子会』の結成式が挙行されました。会場は、2021年4月に共用開始されたばかりの新施設 Forest Gateway Chuo のホール、17色に色分けされた座席に座ると、自然と1~2mのソーシャルディスタンスが確保できるとしてニュースにもなった巨大空間でした。

当日は、白獅子会会長の大石優花L(法学部政治学科3年在学中)に対して、当会会長である松田啓Lから支部編成証書が授与され、正式に学生支部が発足しました。また、結成式後には納涼例会があったことから、多くの親クラブ会員に加え、特別来賓として、河合久中央大学学長(当クラブ名誉会員)とSCP/FWT全日本・MD330MD331GATエリアリーダー兼330-A地区GMT地区コーディネーターの小川晶子Lにお越しいただきました。ご両名には、改めて御礼申し上げます。

ところで、白獅子会の創設時会員数は32名、うち30名が中央大学応援団員、2名が親クラブメンバーの家族の新生入生です。このように、多くの会員が応援団員であるのには、次のような経緯があります。そもそも、当学生支部結成は、前会長であった河野信之Lほかに対して、中井正力・前330-A地区ガバナーから、大学を母体とするクラブに学生支部を作っては、との提案があったことを契機としています。ご承知の方も多いかと思いますが、中央大学にはすでに多くのボランティア・サークルがあり、大学としてもボランティア・センターを核として、学生による社会奉仕活動を積極的に支援しています。そこで、新たにライオンズクラ

ブ学生支部を設置することは難しいとも思われたのですが、本学教員である佐藤信Lが部会長である応援団3部(リーダー部、チアリーディング部及びプラスコア部)では、日頃よりスポーツ応援等を通じた社会連携活動を展開していることから、その活動と連動した社会奉仕・貢献を行うことができるかもしれないとの考えの下、団員に呼びかけを行ったところ、30名ものメンバーが賛同してくれたものです。

現在はコロナ禍のため応援団員と感染者の接触を制限されていますが、その介助に伴って、少しずつ社会奉仕活動を組み込んでいくことを予定しています。また、応援団員以外にもすでに2名のメンバーが加わっていますが、今後、その輪をさらに広げることも計画されています。親クラブの皆様には、白獅子会への応援をいただければ、誠にありがたく存じます。

(L佐藤信行・記)

司会 会員増強委員長 L榎 秀郎(元会長)	
1. 開会宣言	第一副会長・幹事長 L根岸清一
2. ご来賓紹介	第一副会長・幹事長 L根岸清一
3. 東京白門白獅子会支部結成までの経過報告	会員増強副委員長L佐藤信行(中央大学副学長)
4. 中央大学学長挨拶	中央大学学長・東京白門ライオンズクラブ名誉会員 L河合 久
5. 330-A地区代表挨拶	
GATエリアリーダー・FWT及びMD330/331担当GMT地区コーディネーター L小川晶子	
6. スポンサークラブ会長挨拶	会長 L松田 啓
7. 支部編成証書贈呈	中央大学学長・東京白門ライオンズクラブ名誉会員 L河合 久
8. 支部旗贈呈	会長 L松田 啓
9. 白獅子会支部会長挨拶	白獅子会支部会長 L大石優花(中央大学法学部政治学科)
10. 白獅子会支部会員紹介・支部会員スピーチ	
前幹事長 L竹内敬雄、白獅子会支部会員参加者全員	
11. 閉会宣言	前会長 L河野信之



白獅子会支部旗を河合久学長より授与



佐藤信行副学長による支部誕生の経過報告



松田新会長から白獅子支部への認証状授与



330-A地区からご来賓の小川晶子Lのご挨拶



大石優花L



久野末菜歩L



安藤和樹L



芳村舞L



櫻田幹人L



牛込幸大L



小林良輔L



奥津ひなたL



相川千尋L



梅沢伸L



石渡樹来L



岡本有紗L



中村千夏L



大橋杜和子L



井原光希L



宮崎心花L



永川凜L



久野なつみL



五十畑優香L



佐藤真歩L



赤井希美佳L

2022年8月6日(土)

納涼例会 於 うかい鳥山

15時20分より中央大学多摩校舎のForest Gateway Chuoホールにて白獅子会支部(学生支部)の結成式が開催されたあと、バスにて、各自にて開催場所のうかい鳥山に集合。

17時30分から納涼例会・第一例会が開催されました。

司会は副テーマー宮崎亜巳L。「結成式で挨拶された方は違う話をお願いします」という注文があり、それぞれ上手にお話されました。

また、白獅子会支部からは6名に参加いただきました。同窓、同クラブのご縁を確かなものにすべく笑顔にて会食させていただきました。会場の設定上の都合もありまして、同テーブルとなった某2名は終始笑顔爆発でありました事をご報告いたします。どちらかと言えば白獅子会支部に入りたいとも妄言されておりました事も謹んでご報告いたします。(できることなら私も入りたいです! (^_^)!

誕生日会も開催されました。皆様おめでとうございます。

前会長の河野Lのウィ・サーブで宴会が開始されました。

結成式でお話していただく機会の無かった現役の応援団監督

の佐藤信Lから支部結成の経緯などをお聞きすることができました。ありがとうございます。

白獅子会支部幹事長の久野末菜歩Lから、幹部の紹介など和やかにリラックスしていただきました。宮崎Lのヒアリングによりますと久野の呼び方は「ひさの」でなく「くの」だそうです。ほっとした方も多いのではないのでしょうか?

そしてテールツイスターの大久保Lからいっぱいのドネーションの文言がありました。ドネーション額は何と25万1千円でした。これには佐藤信行Lの15万円のドネーションが含まれています。恐縮です。誠にありがとうございました。榎Lのご挨拶で閉会となりました。このあとホテル観賞の夕べを楽しみつつ、新宿までの貸切バスとお店からのバス待ちに分かれて納涼のしばし涼みと風流な時間を楽しみながら帰途に着くのでした。

結成式の段取りからバスの手配、当日の人数確認納涼会まで諸々仕切っていただきました松田会長、根岸幹事長ありがとうございました。お疲れ様でした。
(L竹内敬雄・記)



白獅子会員(学生支部)を交え、和やかな納涼例会風景

寄稿

社会とともに「開かれた中央大学」へ

中央大学学長 河合 久



学問や研究は時代とともにあり、社会の変化に適合するよう進化します。この考えは、本学の建学の精神「実地応用の素を養う」にも表れています。つまり、「素」とは社会に活用できる力の素地であり、「素を養う」とは、知識はもとより、経験や人との交流で培われるコミュニケーション力や議論する力、的確な判断力、そして学び続ける力の養成を含みます。本学では、この“実学精神”を137年にわたり受け継ぎ、いつの時代にも、社会を支え、未来を拓く人材を数多く送り出してきました。

持続可能な社会基盤の構築にとって、今後の大学は、学問領域をますます複眼的にとらえ、他分野の融合を軸とする学際的研究教育の拡充、とくに科学技術(自然科学系分野)と人間行動・社会行動(人文社会科学系分野)の相互関係性に眼目を置いた文理融合型の研究教育が求められています。

さらには、学生が心身健やかに、そして主体的に学生生活を

送れるような学修環境・教育プログラムの整備やスポーツ振興の強化が不可欠です。本学は近年、そのような社会からの負託に応えるために「ダイバーシティ宣言」と「SDGs宣言」を発出し、ダイバーシティセンターやAI・データサイエンスセンター、教育力研究開発機構を開設しました。

2023年度には法学部・法学研究科の茗荷谷キャンパスへの移転、ロースクールとビジネススクールの駿河台キャンパスの移転、小石川キャンパスの開設を控えています。

学生の頃から社会とともに学び、相互に成長しながら知性を社会に活用する力を養ってほしいという願いから、本学の豊富な資源を地域の人々や様々なコミュニティに開放・活用し、社会との交流も積極的に行います。確かな未来につながる学びの実現に向け、私たちはさらなる「開かれた中央大学」を目指します。

(日本経済新聞より)

大学キャンパス 都心回帰



大学のキャンパスの都市部への移転が、相次いでいる。利便性を高めることで志願者を増やしたり、外部との連携を強めて講義の質を上げたという効果があるという。背景には、生き残りかけた学生の獲得競争があるとの見方もある。

東京駅から地下鉄で約10分。最寄り駅は東京メトロ茗荷谷駅。ここには、青いシートに囲われた工事中の建物がある。ここに来る4月、中央大学の新しいキャンパスが開校する。約30年離れた多摩キャンパス(東京都八王子市)から法学部が移転し、約6800人が学ぶようになる予定だ。

「大学に行くついでに、いろんなところに寄れるようになるのがうれしい」。法学部1年生の女子学生(18)はそう話す。現在通っている多摩キャンパスは、東京駅から電車ですら約1時間、就活を考えると、今のキャンパスでは都心から距離があると感じていた。中央大は1978年、より広い敷地を確保するた

め、文系学部のキャンパスを千代田区から多摩に移す。現在は学生の約8割がシフト勤務でいる。一方、2004年に新宿区に法科大学院を開校。19年に近くの新学部を開校。離れた多摩キャンパス(東)を返して、都心にキャンパスを広げていた。今回の法学部の移転で、都心で学ぶ学生は約45%に増えるという。佐藤信行副学長は、法科大学院や、1駅離れた駿河台にある理工学部を念頭に「連携を強化する」と移転のねらいを語る。



中央大学の茗荷谷キャンパスの完成イメージ＝中央大提供

学生の獲得競争激化

中央大ではこれまで、卒業生の法律家や公務員らを招いた講演やセミナーを開いてきた。移転によって、都心で働く人たちにさらに引きやすくなる。利便性の高い都心への立地による志願者の増加も期待する。入試担当者によると、今年度の志願者は伸びなかったが、「周知が足りなかった」と来年度に期待を寄せる。高校の進路担当の教員の反応も、徐々に良くなっているという。ほかにも日本女子大学が21年4月に、川崎市のキャンパスを予定した。

キャンパスの都心回帰の動きは、首都圏では2000年代から新設的に続いていた。人口集中防止を目的に1959年に制定された「工場等制限法」により、都心の学部新設が抑制されてきたが、02年に撤回された。東洋大や青山学院大のように、郊外に設置したキャンパスを都心に移す動きが相次いだ。

教育情報会社「大学通信」の井沢秀・情報調査部長は、回帰のねらいについて「いまの受験生はなるべく近く、通いやすい大学をめざす傾向がある。それに対応することで多くの受験者を確保したい思いがあるのでは」と話す。

優秀な学生を集めるためにはある程度の受験者数を維持する必要があり、「学生の通学の利便性を高めることでアピールしている」とみる。外部の団体や機関

ンパスにあった人間社会学部を東京都文京区に移転。東京理科大学は26年4月、千葉県野田市のキャンパスにある薬学部を、東京都葛飾区に移す予定だ。

こうした動きは、首都圏だけではなく、広島大学は23年度に、東広島市のキャンパスにある法学部を、約20年離れた広島市中心部に移転させる。宮城県東北学院大も同時に、仙台市とその隣の多賀城市にあった三つのキャンパスを、仙台市中心部のキャンパスに集約する予定だ。

と連携したり、業務にも詳しい企業との業務教員を登用したりと、都心の方が講義の質を高めやすい傾向もあるという。

背景には、学生の獲得競争の激化もあるようだ。文部科学省によると、18歳人口は205万人だった02年を境に減少し、昨年は114万人だった。進学率が向上することで維持してきた大学進学者数も、今後は減るとみられている。昨年には、私立大学全体の入学定員を入学者数が下回る事態が初めて生じた。井沢さんは「尻に火がついている大学もある。経営体力にもよるが、移転の動きは今後も続くのではないかと」(山本知佳、高野人)

◆感想や、教育に関する情報をお寄せ下さい。ed@chuo-u.ac.jp
011 朝日新聞東京本社 社会部教育班。

新入会員紹介



諸見里 清

支援会員（スポンサー榎 秀郎L）
昭和28年5月11日生
昭和50年商学部卒
株式会社日東不動産 代表取締役



宍倉 徳子

特別会員（スポンサー榎 秀郎L）
昭和30年10月12日生
昭和53年経済学部卒
宍倉徳子税理士事務所 所長



西 肇

正会員（スポンサー小平康代L）
昭和28年7月1日生
昭和52年法学部卒
株式会社法学館 代表取締役 社長
南甲倶楽部理事



佐野 友映

正会員（スポンサー河野信之L）
昭和44年3月12日生
平成3年商学部卒
日本レゾリエンス株式会社
取締役会長兼CRO
南甲倶楽部理事・会員交流委員



佐藤 勝彦

特別会員（スポンサー河野信之L）
昭和41年6月9日生
平成30年戦略経営研究科卒
株式会社フロンティアハウス
代表取締役CEO
南甲倶楽部会員・会員交流委員



江守 秀次

特別会員（スポンサー榎 秀郎L）
昭和31年4月29日生
昭和54年法学部卒
株式会社ケット科学研究所 代表取締役 副社長
南甲倶楽部理事／学員会幹事／東京大田区支部
支部長／中央大学スケート部OB会会長

編集後記

この度、今期より総務・広報の委員長に任命されました。まず委員長就任のご挨拶をさせていただきます。

はじめに白門ライオンズの「会報（クォーターリー）」の歴史を紐解けば、最初はイベント・特別な会合等があればその都度、例会案内と一緒に写真データをコピーして榎Lの事務所から発送しておりました。私もよく手伝いをさせられていたのを覚えています。

第11代会長の水津Lが今の前身の会報擬きを作成し、毎月例会内容とメンバースピーチを掲載された小冊子が会報の始まりかと思います。そして翌年に、第12代会長の境Lがノラ・コミュニケーションズに編集を依頼して、今現在、好評の会報として引き継がれております。

小生は最初、写真のみ提供しておりましたが、第9号より多少お手伝い、そして現在に至っております。最初は100部ほどの印刷から、現在は400部作成と年々増えております。

今後も更に充実した会報創りに委員Lと共に力を注ぎますので、皆様のご協力をお願いいたします。 【L大越武雄・記】

Quarterly of Lions 2022.5-6-7-8 No.26

発行日 2022年9月5日

発行人 L松田 啓

編集／総務・広報委員会 委員長 L大越 武雄 副委員長 L木村具成、L赤池三男
コーディネーター L榎 秀郎

発行所 東京白門ライオンズクラブ

事務局 八王子市南大沢 3-14-4-304 TEL/FAX.042-676-4147

制作協力 株式会社 ノラ・コミュニケーションズ

白門ライオンズ会報 揮毫 L中山 正暉



2022.7 ~ 2023.6

白門ライオンズの誓い
我々は、会員相互の友情
の絆を基に、同窓・学員の
信頼を深め、知性の根源
である中央大学の発展に
寄与することを誓う。
東京白門ライオンズクラブ

クラブスローガン

白門の絆を奉仕で結ぶ母校愛

東京白門ライオンズクラブ

白門ライオンズクラブ 🔍

<http://hakumon-lions.org>